

発表

● 調布市

調布市環境部ごみ対策課 課長補佐 齋藤 保 さん

古紙の収集現場から！
調布市における現状と課題

燃やせるごみの中で生ごみに次いで多いのが紙類。ごみ減量のためには分別の徹底が大切。調布市における古紙収集の現状と課題について紹介。また、市民向けに行っている啓発等を紹介。

● トムラ・ジャパン(株)

セールス&マーケティング部ゼネラルマネージャー 松井一茂 さん

小売店頭を活用した
古紙ポイント回収

ここ数年で進展した小売店頭を活用した古紙ポイント回収システムの概要を、導入事例とともに解説します。併せて、当社の概要や業界の概要、市場の推移、当社の取り組みの状況と実績などを紹介します。

● コアレックス信栄(株)

常務執行役員 佐野 仁 さん

にっぽんの暮らしで発生する
すべての紙は資源と考える

家庭や事業所で可燃ごみとなっていた難再生紙（ホチキス止めやファイルに綴じられた資料、段ボール入りの機密書類など）を、最新鋭のプラントでそのまま溶解し、トイレトペーパーの原料にしています。

● (株) スーパー・フェイス

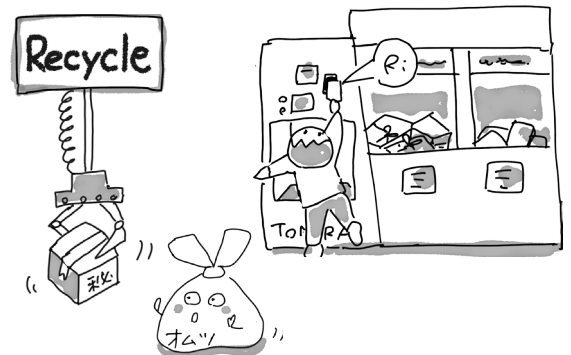
代表取締役社長 木村幸弘 さん

紙おむつのごみを
地球を救う燃料へ！

本技術は、これまで「処理方法がなく、埋立てか焼却するしかない」と思われていた使用済み紙おむつのエネルギーリサイクルを可能にしたものです。年々増加傾向にある紙おむつごみを、資源として再生する取り組みを紹介します。

紙類リサイクルの最前線

2017年
2月5日(日)
13:30 ~ 16:30



家庭から出る可燃ごみでは、生ごみと並んで紙類が大きな割合を占めています。

紙類としては、汚れていてリサイクルできないものだけではなく、リサイクルが可能なものも混入しています。CO2が発生する焼却を減らすためにも、リサイクルできるものはリサイクルしていく必要があります。

リサイクルが可能なものには…

- ① 新聞、雑誌、ダンボール、雑紙など、従来からリサイクルの対象となっているものと
- ② 難再生古紙（禁忌品を含む）や紙おむつなど、まだごく一部でしかリサイクルされていないが、最近リサイクル技術が開発され、リサイクルが可能になったものがあります。

今回のセミナーでは、①については、紙類の分別収集で優れた実績を上げている自治体や、紙類のリサイクルを促進する古紙自動回収機の設置を進めている事業者とその取り組み状況を紹介していただき、また、②については、こうした技術を開発された事業者にも、リサイクル方法や事業展開状況などを紹介していただきます。

真如苑助成金事業



NPO法人
ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012
国分寺市本町 2-19-9-7
TEL&FAX 042-328-6621 月曜日(除く祝日) 13 ~ 17時
*不在時は 080-1131-6205 井上 / 080-6670-6641 江川
メール gomikan@mtf.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www2u.biglobe.ne.jp/GOMIKAN/

会場

国分寺労政会館

3階第3会議室

中央線・西武線 国分寺駅南口徒歩5分



042-323-8511

申込み不要。
直接会場へおいでください。

参加費(資料代)
会員・学生：500円
一般：1000円